

一般社団法人 千葉県理学療法士会 NEWS



2025年4月
第239号

もくじ

巻頭言	2
各部局県士会活動案内・報告	3
お知らせ	9
編集後記	10



千葉県理学療法士会：以下 県士会

URL : <http://www.chiba-pt.org/>

県士会ニュース代表メールアドレス : t.kouketsu@asunaro.jp

◆ ニュース原稿メ切 ◆

No.240 6月号 (3月下旬～4月上旬着) メ切 4月30日
No.241 8月号 (7月下旬～8月上旬着) メ切 6月30日
No.242 10月号 (9月下旬～10月上旬着) メ切 8月31日

No.243 12月号 (11月下旬～12月上旬着) メ切 10月31日
No.244 2月号 (1月下旬～2月上旬着) メ切 12月31日
No.245 4月号 (3月下旬～4月上旬着) メ切 2月28日

❖ 巻頭言 ❖

📦 新しい一歩に向けて



一般社団法人 千葉県理学療法士会
会長 田中 康之

さあ、4月です。新たに理学療法士としての歩みを始める新人の皆さん、そして職場が変わった方や異動によってリスタートを迎える皆さん、おめでとうございます。これからのご活躍を心よりお祈り申し上げます。

新人の皆さんにとって、これからは学生生活とは大きく異なり、責任ある立場となります。私たち理学療法士は、患者さんや利用者さんの暮らし・人生、さらには家族の人生・暮らしにも影響を与える責任ある立場となることを、改めて心に留めておいてください。

さらに「障害」とは何か、改めて考えてみましょう。

機能障害と、暮らしにある障害は同一ではありません。例えば、皆さんが突然パリで生活することになったとしましょう（フランス語が喋れない前提で）。言語・聴覚という身体的な機能障害はありませんが、生活上の大きな障害に直面することでしょう。そう、あなたは「障害がある人」になります。しかし、この時代スマートフォンの翻訳機能を活用すれば、その障害の多くは解消できます。

理学療法士がリハビリテーション（以下、リハ）専門職を名乗るのであれば、動作に関わる機能障害だけではなく、専門知識・技術を駆使し、暮らしの中から生まれる障害を解決する方法にも目を向ける必要があります。リハの本来の意味を捉え直し、その人の暮らし全体を考えながら関わっていくことが、これからの理学療法士には求められるのではないのでしょうか。直接的な治療行為にとどまらず、理学療法の知見を活かし、その人の生活の質を高めることこそ、私たちの使命です。ぜひ、広い視点を持ち、それぞれのキャリアを築いていってください。

そして、新入職員の皆さん、そして新天地でリスタートを切る皆さん、ぜひ千葉県理学療法士会への加入をご検討ください。会に加入することで、さまざまな研修や情報共有の機会を得られるだけでなく、理学療法の発展にも貢献することができます。そして、何よりも自らの身を守る保険にも入れます。1日62円の負担で、これらの特典が得られます。

最後になりますが、私事ながら、本年6月の千葉県理学療法士会代議員総会をもって会長職を退くこととなりました。12年間、やや長く務めすぎたかもしれませんが（笑）、これからは新たな役員体制のもと、新しい取り組みが進められることを期待しています。もちろん、私も一会員として、できる限りお手伝いを続けていくつもりです。

さあ、新しい一歩を踏み出しましょう。



❖各部局県士会活動案内・報告❖

📦生涯学習局 報告

【生涯学習局について】

生涯学習局 局長 小林 好信

新年度となりましたので、日本理学療法士協会や千葉県理学療法士会ホームページ（以下：県士会HP）を確認し、自身のキャリアアップに向けた計画的な履修に取り組んでいただければと存じます。

【卒前卒後教育連携推進委員会より】

生涯学習局 局次長

卒前卒後教育連携推進委員会 委員長

竹内 真太

卒前卒後教育連携推進委員会では、令和7年度に2つの新規事業を計画しています。1つ目は臨床実習教育のブラッシュアップを図り、卒前卒後教育の連携をより強固にするためにOSCE（Objective Structured Clinical Examination：客観的臨床能力試験）に関する講習会を企画しています。2つ目は卒前からのキャリアやネットワーク形成を促進するために現職者と学生間との交流会を企画しています。是非とも参加をご検討ください。

【前期研修部より】

前期研修部 部長 高原 剛

前期研修部では、令和7年度に新人歓迎セミナーでのシンポジウム、生涯学習制度についての説明会を開催予定です。詳細は決まり次第、県士会HPに掲載させていただきます。また、県士会HPの前期研修部のページに生涯学習の履修方法などを掲載し、履修促進に向けた整備を行う予定です。ぜひとも、県士会HPにアクセスし、内容をご確認ください。今後も、引き続き前期研修修了に向けて会員の皆様のサポート体制、広報の方法など改善策を検討し、皆様の履修促進につながるよう尽力して参ります。

【後期研修部について】

後期研修部 部長 池田 一樹

後期研修部では、令和7年度の士会主催症例検討会（後期研修カリキュラム E：領域別事例）を6回（E-1 神経系、E-2 運動器系、E-3 内部障害系を各2回）開催予定です。後期研修履修中の方は、この機会に、症例発表をぜひご検討ください。また、各施設で行われている症例検討会を事前申請することで、後期研修E領域の履修に繋がります。ぜひ積極的に申請をご検討ください。症例検討会に関するご質問などございましたら、各ブロックのコアメンバーまたは後期研修部に気兼ねなくご相談ください。

【企画研修部について】

企画研修部 部長 室井 大佑

企画研修部では、令和7年度の士会主催更新研修会を6回実施する予定です（運動器2回：対面、脳血管、内部障害、がん、義足：すべてWeb）。会員の皆様が予定を立てやすいように、これまでより研修会の日程を早めに提示するようにいたします。今年度も県士会員の皆様に有益な講習会が実施できるよう尽力いたします。引き続き、県士会HPにアクセスし、「生涯学習」→「士会主催更新研修会」の情報をチェックするようにしていただければと思います。

📦学術局 報告

学術誌編集委員会 委員長 高杉 潤

令和6年度は、主に以下の3つの事業を行いました。そして令和7年度4月より、論文投稿・査読システムが大きく変わります。詳細は県士会HPをご覧ください。

- ① 「理学療法の科学と研究」16巻1号の編集作業：多数ご投稿いただいた論文の中から採択された5編が令和7年3月にJ-STAGEに掲載・公開されます。また特集記事として「研究倫理」をテーマに、2編の論文が掲載されます。著者は、現在、第一線でご活躍中の深田亮氏、桑江豊氏の両名にご執筆いただきました。研究を進める上で参考と

なる内容ですので、是非ご一読いただけますと幸いです。

- ② Editorial Manager (エディトリアルマネージャー: EM) 導入に向けた準備: 論文投稿・査読作業の円滑化を目的に令和7年4月からEMを活用できるよう準備を進めてきました。これからは論文投稿や査読のやりとりが、より楽に的確にスピーディーになります。是非、これを機に、会員の皆様からのご投稿をお待ちしております。
- ③ 投稿・執筆規定の改訂: 倫理規定等の見直しを含め、EMの導入にあわせて4月から新しい執筆規定・投稿規定でスタートします。こちらも併せて、県士会HPをご一読ください。

【研究支援委員会より】

研究支援委員会 委員長 **森下 勝行**

令和6年度の活動として、セミナー開催5回、アーカイブ動画配信7編、研究助成3件を実施いたしました。多くの皆様のセミナー参加、アーカイブ動画配信のお申し込み、研究助成のご応募をありがとうございました。

令和7年度は、セミナー開催を7回予定しています。いずれも充実した内容のセミナー企画となっています。詳細は県士会HPをご確認ください。会員の皆様のご参加をお待ちしております。



☒公益事業局 報告

【スポーツ支援部・障がい者スポーツ支援部 共同セミナー】

スポーツ支援部 **岩立 健司**

日時: 2024年12月15日 (日) 9:00~12:00

場所: 平和台病院 未来館2階

千葉県理学療法士会の会員向けに障がい者スポーツ支援部部長の福田大輝先生より「障がい者スポーツの実際~コンディショニングとサポートの実際~」、ス

ポーツ支援部の木部敬洋先生より「足関節の固定テーピング」についてのセミナーを行いました。



今回のセミナーでは、障がい者スポーツについては実際のサポート現場の様子について、動画等を踏まえて紹介し、サポートに必要なことについて講演を行いました。テーピングでは、まずはテーピングに触れていただくことから始め、スタッフが適宜巡回し、足関節の固定テーピングを実技にて行いました。



今後もスポーツや障がい者スポーツ関連のセミナーや活動を計画させていただきます。興味のある方は是非ご参加ください。

【東金市 介護予防講演会】

健康増進支援部 川原 聡子

(介護老人保健施設つくも苑)

令和7年2月5日(水)東金市高齢者支援課主催の「介護予防講演会」に、千葉県理学療法士会として参加してまいりました。東金市のこのようなイベントには、以前より協力させていただいており、歩行年齢測定会やロコモ度チェックといった測定会やCOVID-19の感染拡大後は、座席でできる内容に調整し継続しています。今回は、住民アンケートの結果を踏まえ、「フレイル予防の為に講話」と「肩こり腰痛予防体操実践」を行いました。



運営スタッフは、地元である山武長生夷隅ブロックが中心となり募集をかけました。このブロックでは「地域の特徴を踏まえた地域リハの推進」「ヨコの繋がりを、会員同士の輪を広げる」という活動目標を掲げており、今回のイベント規模に対し募集人数を多く設定し、未経験の方も参加できるようアナウンスしていただきました。その結果、イベント開催日が平日にも関わらず、募集人数10名のうち10名の応募があり、その内未経験者が2名おられました。イベント開催前には、オンラインにて打ち合わせと顔合わせを行い、当日の流れや役割分担の確認等を行いました。個人的な感想ですが、一度オンラインでも顔合わせを行う事で、当日の緊張感が軽減するように感じました。

地域活動の経験を考慮して講師2名を指名し、講義資料の作成を依頼しましたが、お2人ともとても分かりやすく、見栄えも良い素晴らしい資料をご用意していただきました。通常業務がある中、ご尽力いただき誠にありがとうございました。

今回のイベントには住民の方34名が参加され、イベント後のアンケートでは皆さんから好評をいただきました。



た。東金市の方からも、多くのPT (Physical therapist : 理学療法士) が協力参加し、住民の中に入って個別で運動指導してくれた事が良かったと感謝されました。

今回は想像以上に地域のPTが協力していただきました。住民の方、東金市の方からはとても好評でしたが、参加したPTの一部からは「良くなかった」との意見もいただきました。今後の課題として、参加するPTにも満足いただけるよう、名刺交換や意見・情報交換等、参加したPT同士での交流時間も設けられるようにしていきたいです。



今後とも経験が浅いPTも、不安なくこのような地域活動に参加でき、横の繋がりが広げられ、地域に貢献できるPTが少しでも増えればいいと思います。



☑一般社団法人千葉県理学療法士会

●令和6年度 第11回理事会 議事録

日 時：令和7年1月10日（金）19時00分～21時15分

場 所：WEB会議

出席者：〈理 事〉田中康之、竹内弥彦、薄 直宏
高橋 聡、小川明宏、松田 徹
桑江 豊、大住崇之、藤井 顕
高杉 潤、三和真人、森下勝行
竹内真太、川村雄輔、深田 亮
森田悠介、中村亮太、渡辺政基
小林好信

〈監 事〉西山晴彦、松川基宏、児玉美香

〈委 員 長〉内村 元

〈事 務 局〉奥村龍之

〈書 記〉菊池俊明

1 報告

1) 会長報告及び三役局長会議報告

田中会長より、12月14日から本日までの行動概要及び三役局長会議にて議案調整等行われたことについて報告された。

2) 事務局会議報告

①県士会ニュースについて

ニュース編集部でTeamsにて編集作業を開始。

②Microsoft Teamsについて

新人歓迎セミナーの関係者をTeamsに招待して作業開始。

③県士会HP管理について

研究支援部より業者へ仕様発注を依頼済み。

④令和6年度事業報告および令和7年度事業計画書・予算案作成について

活動計画・予算案の提出期限：令和7年2月25日（火）。

⑤地域活動支援本部会議報告（12月21日開催）

非会員の方が、参加された研修会やイベント等について実績を取り纏めるとともに、その後の入会状況や会員になった理由、ならなかった理由等について追跡調査を行う。

⑥【千葉県士会】組織運営に係る意見交換会の進捗

参加者、日程候補日について調整する必要あり。

⑦Zoom使用状況調査について

ユーザー使用状況分析中。

⑧令和7年度代議員総会について

日程：令和7年6月29日（日）10時～

会場：千葉県立保健医療大学幕張キャンパス

3) 公益事業局報告

①高校野球進捗について

②東金市介護予防講演会について

ブロック内周知にて定員10名を確保したこと等が報告された。

4) 令和6年度中間監査報告

監査結果について、以下のとおり報告された。

①業務の執行は適正に行われているものと認める。

②会計は適正に行われているものと認める。

(1) 監査考察

①業務執行について

昨年の6月の新体制に移行し、今年度で2年目になるが、県士会の体制に係る局部員に対する規定や就業規則の策定、会員に対する福利厚生事業など、様々な懸案事項に対して改善策を講じていた。

県士会事務所職員の体制については、県士会事務の内容、量に鑑み強化する必要があると考える。財務管理の外注など事務負担軽減策とともに安定した職員体制の構築に向けてさらに検討されたい。

各市町村及び団体等からの県士会員の派遣依頼については、理学療法士の専門性を鑑み、適切な支援内容になるよう依頼先との十分な調整を図っていただくとともに、事故等への対応についても考慮願いたい。

(2) 会計について

収入については予定通りの確保が見込まれる。

支出については、執行率が低い状況が見られるが、下半期の事業予定及び予算執行予定について状況を確認しながら適切な事業を執行していただきたい。現金・預金の推移について会計士に確認後、報告されたい。

(3) その他

中間監査を実施するようになってからまだ数回であるが、中間監査の状況を下半期の事業に反映できるよう各局・部・委員会においては配慮願いたい。

本会の安定した事業継続のため、次期体制に向けて県士会内の役割分担及び各局の業務の効率化を図り、後継人材の育成も鑑み、各担当理事・部長等の負担が過度にならないように引き続き検討されたい。

2 協議事項

1) 新人歓迎セミナーの企画、運営について

プランA（昼食無料提供）とプランB（各自昼食。グループワークでの軽食提供）を比較検討し、プランBを採用することに決定された。

【日 時】令和7年5月18日（日）10：30～16：30

（10時受付開始）

【会 場】千葉県教育会館 大ホール・会議室（501号室）

【対 象】令和7年度新卒・千葉県理学療法士会新入会者または入会予定者。

（入会を前向きに考えている方への対象拡大を検討中）

【参加費】無料

【申込方法】千葉県理学療法士会HPからの事前申込

2) 執行部およびブロック長合同会議議題について

【目 的】令和8年度施行を目標に、令和7年度にブロック運営における中長期目標を検討していくため、ブロックの意見を聞くこと。

【日 時】令和7年2月17日（月）19：00～20：30

【参加者】執行部：三役・局長・本部理事

ブロック：ブロック長・各ブロックオブザーバー2名まで

【開催方法】対面+Zoom

【議 案】・入会率を向上させるには

・退会率を低下させるには

・今後のブロック活動における意見交換

3) ブロック主催研修のオンデマンド配信について

ブロック主催研修会のオンデマンド配信要望については、著作権や肖像権の懸念、運用ルールの必要性が挙げられたため、現時点では本格展開は見送り、研究支援部での限定配信実績を基に検討を進めることが共有された。

4) 令和7年度卒前卒後教育連携推進委員会の新規事業について

千葉県士会の重点課題となっている新規入会者の獲得に向けて令和7年度に県内養成校と連携した新規事業を立ち上げる予定であり、内容について検討が行われた。養成校交流企画、臨床実習指導者と養成校教員の情報交換会を新規に立ち上げ、詳細を検討していく。

5) 県内養成校学生の学術誌論文投稿について

県内養成校学生が千葉県理学療法学術大会で発表した内容を千葉県士会の学術誌に投稿する可能性につい

て検討された。倫理規定や投稿規定の見直し、卒業後のサポートの必要性が議論された。今後慎重に検討を進めること及び、学生会員制度導入の可能性についても併せて検討する。

3 審議事項

1) ブロック主催研修会の企画研修部共催について

部局や委員会を対象に実施している更新研修会を、企画研修部と共催（生涯学習制度のポイント付与）する形で、ブロック主催研修会にも適用する案について検討された。

生涯学習制度の更新ポイント付与条件として、参加者範囲の制限（ブロック内限定）、参加申込をブロックで一括する、無料参加、単位認定はQRコードを使用する、について、賛成多数にて承認された。今後運営マニュアルの内容を地域活動支援本部で検討予定。

2) 士会主催更新研修会の他士会員参加受入の試験的導入について

現在、千葉県士会員に限定している士会主催の更新研修会について、来年度より他士会員の参加を試験的に受け入れる案について検討された。他士会員の受け入れについては、千葉県士会員を優先し定員に空きがある場合に限ることに修正された。

3) 公益社団法人21世紀職業財団HPへの当士会ロゴマーク等掲載について

表題について賛成多数で承認された。

次回、令和6年度第12回理事会

日時：令和7年2月14日（金）

会場：Web会議

以上

●令和6年度 第12回理事会 議事録

日 時：令和7年2月14日（金）19時00分～21時25分

場 所：WEB会議

出席者：〈理 事〉田中康之、竹内弥彦、高橋 聡
小川明宏、松田 徹、桑江 豊
大住崇之、藤井 顕、高杉 潤
三和真人、森下勝行、竹内真太
川村雄輔、深田 亮、森田悠介
中村亮太、小林好信

〈委 任 状〉薄 直宏、渡辺政基

〈監 事〉西山晴彦、松川基宏、児玉美香
〈委員 長〉内村 元
〈事 務 局〉奥村龍之
〈書 記〉菊池俊明、黒川 諒

1 報告

1) 会長報告及び三役局長会議報告

田中会長より、1月11日から本日までの行動概要(医師会新年会や保健福祉計画策定協議会、大学院設置検討会議等)及び三役局長会議にて議案調整等行われたことについて報告された。

2) 事務局会議報告

①令和6年度報告・令和7年度計画、予算案チェック体制

事業計画・予算案のチェック体制の導入についての報告。

②ニュース編集部の執筆要項の変更案について

公用文作成に関するマニュアルを共有し、書式の統一を図ること及び、写真の基準の設定や千葉県理学療法士会を県士会へ統一すること。

③県士会ニュース関連進捗

Microsoft Teamsを使用して作業を進めている。

④県士会HP関連進捗について

研究支援委員会のサイト編集に係るコストは5万円程度であった。

⑤経理処理の事務局代行の件

県士会の予算を個人口座で管理している場合、当人以外が予算を出納する必要がある際に円滑な作業が行えない可能性がある。今後事務局で現状把握の調査を予定している。

⑥県士会の組織運営に係る意見交換会の件

2月25日19時から開催予定。

⑦新人歓迎セミナーの企画と案内送付

新人歓迎セミナーにて各ブロックから1名ずつ出席を依頼し、グループワークのファシリテーター等の役割を依頼する。

⑧日本理学療法士協会60周年記念事業関連進捗

モザイクアートへの写真提供、動画投稿に関しての進捗報告。

3) 公益事業局報告

①公益事業局会議報告について

作業報告書の作成について複数日にまたがった場合の記載について及び、拡大理事会での活動費を事務局

で取りまとめること、講師謝金の状況について共有された。

②令和6年第2回中央区地域健康づくり支援連絡会について

日時：2月19日(水)15時~16時30分

会場：中央保健福祉センター

③スポ・障スポ サポートスタッフ養成セミナー開催について

日時：3月9日(日)10時~16時

会場：千葉県総合スポーツセンター

④令和6年度全国パラスポーツ関連担当者会議について
県士会として障がい者スポーツ支援部の福田部長を派遣することを報告された。

4) 選挙管理委員の選出について

令和6年度に理事、代議員選挙を行った際に郵送にかかる日数やコスト等が課題となった。

現行の郵送での方法ではなくWEB選挙への移行の必要性が考えられ、新たな選挙管理委員について検討された。

5) 60周年記念誌事業アンケート

日本理学療法士協会への提出について情報共有された。

6) 令和6年度優秀賞について

千葉県理学療法士会優秀賞について、養成校12校より申請があったことが報告された。

2 協議事項

1) 令和6年度非会員参加状況調査について

令和6年度はブロック・部等のイベントに非会員が参加することを容認していたが、年度末となりその参加状況を調査し、次年度計画に活用することが共有された。

2) 高校野球の対応について

現行の準々決勝からの対応になった経緯、観客の熱中症対応を高野連・看護スタッフとの協同行うことを当初から依頼されていたことなどについて共有された上で、今後の高校野球への対応について協議した結果、サポートの対象や内容を見直し、依頼内容を明確にする必要があることが確認された。

3) 人材バンクの方向性について

事業の目的について、会員の県士会事業への参加を目的に、対象者の認定・専門や推進リーダーや協会指定管理者の分類整理を行い県士会事業への人材登用に向け活動していくことが共有された。

今後は運用方法を具体化する予定。

4) 理事の職務範囲および委嘱状発行について

通例として運用されている理事の職務範囲について、定款や規程に明記されていない事項があることについて協議され、今後の明文化について検討された。また委嘱状の任期については、他士会の運用との調整が必要であることが確認された。

5) 理学療法の日全国一斉イベント開催への協力について

これまで理学療法週間推進部による「千葉市ハーモニープラザでの転倒予防講座」を行ってきたが、日本理学療法士協会60周年のPRも兼ねる目的もあるため、ブロック等から幅広いアイデアを聴取して対応することが協議された。

6) 令和8年度以降の財務管理体制にむけた外部業者ヒアリング準備について

事務局では、令和8年度からの財務管理体制の見直しに向けて、外部業者からのヒアリングに向けた準備を進めており、一つ目の外注候補企業として毎日学術フォーラムについて情報収集を行った。

支払いは四半期ベースとし、例外的な支払いは都度対応する可能性が示唆された。具体的な決定は今後の詳細な検討を経て行われる予定。

3 審議事項

1) 財務部補正予算について

財務部補正予算209,722円について、賛成多数にて承認された。

2) Zoom契約数見直し案と運用変更に伴うHP改修について

令和7年度は、事務作業効率の改善などを目的として県士会でMicrosoft Teams Essentials版導入を検討していることから、現在のZoomライセンス契約数22から16アカウントに削減が可能となる。併せて、Zoomライセンスの使用状況の見える化のために必要となる県士会HP改修について賛成多数にて承認された。

3) 第2回認定スクールトレーナー養成講習会の県士会推薦者への講習会費・登録料について

当該スクールトレーナーの受講費（40,000円）および合格後の登録料（10,000円）を県士会において負担することについて、賛成多数にて承認された。今後は推薦者の選定や費用負担についての基準作りを進めることになった。

次回、令和6年度第13回理事会（拡大）

日時：令和7年3月14日（金）

会場：ハイブリッド開催（千葉市内）

以上

❖お知らせ❖

☑報酬における業務相談のご案内 (県士会員限定)

医療介護保険部では医療保険、介護保険での報酬に関わる業務相談を以下のメールアドレスにて受け付けています。

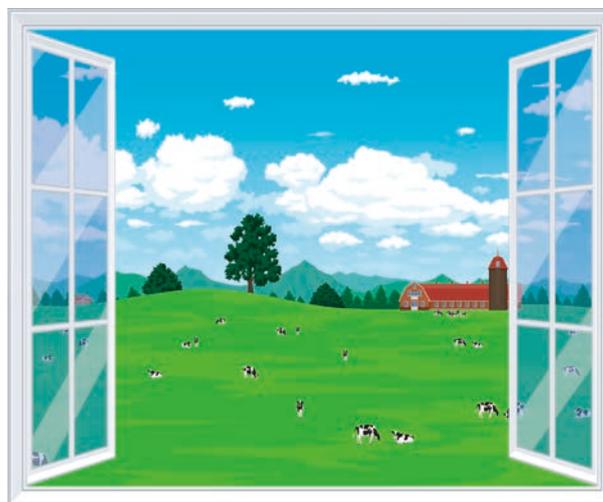
ご相談の際には件名を「千葉県PT士会 業務相談」とご記入いただき、本文に会員番号、所属、氏名と相談内容を合わせてご記入をお願いいたします。

：メールアドレスおよびQRコード

chibapt_iryu_kaigo@yahoo.co.jp



担当 職能局 医療介護保険部



❖ 編集後記 ❖

●新年度を迎えるにあたり

ニュース編集部 部長 纈 纈 琢 磨

徐々に暖かさが増していますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。ニュース編集部 部長の纈纈です。会員の皆さま、いつも県士会ニュースをご覧いただきありがとうございます。

さて、田中会長の巻頭言の中に、「直接的な治療行為にとどまらず、理学療法の知見を活かし、その人の生活の質を高めることこそ、私たちの使命です。ぜひ、広い視点を持ち、それぞれのキャリアを築いていってください」と、ありましたが、私も整形外科クリニックで20年近く仕事をしていて、外来の患者様に対して、どうしても直接的な治療を重視してしまいがちですが、それと同時に通所リハビリテーション（以下：通所リハ）や訪問リハビリテーション（以下：訪問リハ）の事業所も併設しているクリニックなので、広い視点を持ち、通所リハや訪問リハの利用者様の対応を

する度に、整形外科疾患の外来患者様に対しても広い視点でも捉えていかないと本当のリハビリとしての治療にはならないな……と考え直させられます。

後輩の理学療法士達にも伝えるのですが、良いリアクションを出すことは当たり前で、そこから「治す」までを考えていかないと……と、この広い視点失くして、リハビリとしての「治す」は実現しないと私は思っています。

新年度を迎えるにあたり、田中会長の巻頭言を拝読し再度この理学療法士としての広い視点を自分でも再確認できましたし、後輩達にも改めて、しっかり伝えていこうと思います。

今号を読んでいただいた皆さまも、新年度を迎えるにあたり、新たな決意で令和7年度を過ごしていただければと思います。

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。

今回のニュース原稿の締め切りは
令和7年4月30日です！

千葉県理学療法士会は働きやすい職場づくりを応援しています

困ったときは相談窓口(外部)へ

[千葉県理学療法士会外部相談窓口紹介ページ](https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html)

<https://www.chiba-pt.or.jp/pg2188624.html>



問い合わせ先

- 千葉県理学療法士会ホームページ
<http://www.chiba-pt.org/>
- 求人広告のお申込・お問い合わせ
chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp
- ニュース編集部
部長 纈 琢磨
t.kouketsu@asunargroup.jp

※当県士会ニュースの無断転載・引用はかたくお断りいたします

発行人 田 中 康 之

発行 一般社団法人 千葉県理学療法士会
事務局

〒260-0013 千葉市中央区中央1-11-1

千葉中央ツインビル1号館1005号室

Tel 043-301-3065/Fax 043-301-3066

(電話対応の詳細はHP参照)

Mail chiba-rpt@crest.ocn.ne.jp

編集部 部長 纈 琢磨

医療法人社団 君津あすなろ会

小見川あすなろクリニック

〒289-0314 千葉県香取市野田280-1

Tel 0478-79-5683/Fax 0478-79-5684

Mail t.kouketsu@asunargroup.jp